



日本人初の世界一を獲得! BMXの魅力をもっと広げていきたい

中村輪夢選手 BMXフリースタイル2022年世界選手権優勝

多くの人のサポートや応援がモチベーションにつながる

中村選手は、BMXフリースタイルで東京2020オリンピック5位入賞、そして2022年世界選手権では日本人初の優勝に輝きました。ジャンプして様々な技を繰り出すBMX。転倒や落下の怖さ



はあるけれど、それを乗り越えて技を決めた時の気持ちよさは格別のこと。その達成感に魅せられて技のレベルをどんどん上げ、ついに世界一に到達したのです。

中学3年生の頃には日本を代表する選手に成長していた中村選手は、「プロ選手として生きていくことを進路に決めました。誰もやったことのない道ですが、不安はなかったですね。とにかく挑戦してみました。サポートしてくれる方や応援してくれる方が増えて、責任感とか、感謝の気持ちも自然に大きくなってきました。それが頑張るモチベーションにもなっています」。

リスpektしあえる
魅力を、大切に
していきたい

近頃、BMXやスケートボードなどで、選手同士が世代や国境を超えてたえ合う姿が話題になっていることについて、中村選手に聞



「フェアプレー宣言」しました!!

いてみました。「BMXは、自身自身の勝負なので、みんなが最高のパフォーマンスを発揮して、一緒に高めあえたらいいなと思っています。だから、一緒に練習する時には技を教えあったりします。僕がアドバイスしたことで上手くなるようになれば嬉しいし、僕自身の向上心も刺激されます。選手同士がリスpektしあえる関係はBMXの大きな魅力なので、この先もずっと大切にしていきたいですね」。

最後にこれからの目標について聞いてみました。「BMXはカッコいいし、選手同士の関係もとても素敵で、その魅力を広げていきたいです。僕の結果によってBMXの未来が変わると思うので、覚悟を持って前進していきます」。



これまでに3名の女子選手(橋本聖子選手、関ナツ工選手、大菅小百合選手)が出場。二つの競技は鍛える筋肉が似ていることから、スピードスケートの選手はトレーニングに自転車を取り入れています。

スポーツものしりクイズ

冬季オリンピックでスピードスケートに出場した日本選手が夏季オリンピックの競技にも出場を果たしています。その競技はなんでしょう?

- A ボート B 自転車レース C 陸上競技(短距離)



自己申告でさらに高まるチーム力

「カーリング」
ロコソラーレ
北海道銀行



ストーンを数回投げ合い、円の中心に置くことで得点を競うカーリング。ストーンを進め方をコントロール



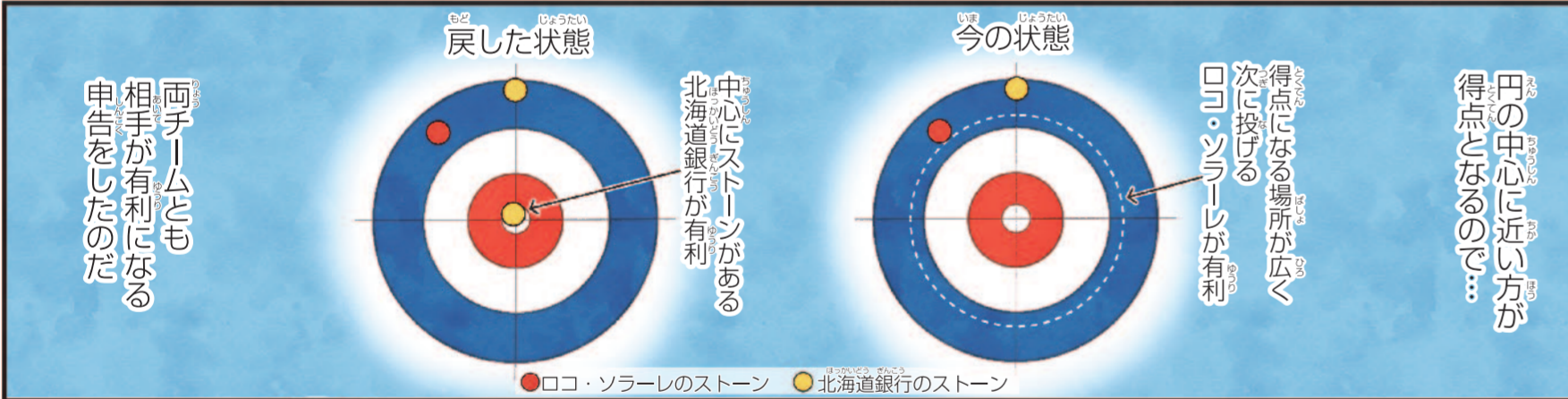
北海道銀行の投げたストーンが狙い通りの位置で止まった



私のブラシが当たったせいでタッチストーンしたのかも

もしそうならどかしたストーンを元に戻してもいいよ

ロコソラーレの選手が



この難しい状況を両チームが話し合って解決

そして今の状態でロコソラーレが2点獲得した

しかし北海道銀行はこの状況をハネにチームの力を結束させ、逆転勝利を収めた

両チームがフェアプレーを買った感動的な試合となった

